

第1回ソーシャルファームジャパンサミットin新得

仏ジャルダン・ド・コカーニュに学ぶ就労支援シンポジウム

2013年6月

NPOコミュニティシンクタンクあうるず



社会的弱者の就労支援を農業とデザインでおこなう仕組みづくり



ヘンケル氏と訓練生



ビニールハウスの様子



市場価格を考慮した
野菜の価格設定



谷垣法務大臣らの
ジャルダン視察

ジャルダン・ド・コカーニュについて

1991年、ジャン・ギイ・ヘンケル（Jean-Guy・HENCKEL）氏は、耕作放棄地を有効に利用し、有機農業をツールに失業者の社会復帰をめざす非営利活動法人『ジャルダン・ド・コカーニュ（Jardin de Cocagne）』をブザンソンで立ち上げ、活動を始まりました。

2013年現在、フランス全土で130か所で展開し、国内360歳の環境重視型の持続可能な農業を実践しています。約700名の常勤有給スタッフと1,500名のボランティアスタッフ、25,000世帯の提携家庭に支えられ、4,000人が職業訓練、社会復帰訓練を受けています。そのうち46.1%の訓練生は社会復帰に成功しています。

ジャルダンが掲げる4つの憲章

1. 社会的排除・プレカリティ防止のために価値ある仕事で社会復帰すること
2. 環境に配慮した農業を実践すること
3. 販売は契約している定期購買者向けに行うこと
4. 地域経済の発展に協力していくこと

日時：2014年6月7日（土）・8日（日）

会場：十勝サホロリゾート（北海道十勝郡新得町狩勝高原 Tel. 0156-64-7111）

主催：仏ジャルダン・ド・コカーニュに学ぶ就労支援シンポジウム実行委員会（事務局：NPOあうるず）

共催：NPOコミュニティシンクタンクあうるず

協賛：新得町、（公財）日本社会福祉弘済会、NPO全国更生保護就労支援会

（公財）はまなす財団、十勝毎日新聞社

後援：法務省保護局、農林水産省北海道農政事務所、北海道、（社福）北海道社会福祉協議会
ソーシャルファームジャパン、（農組）共働学舎新得農場、NPO十勝障がい者支援センター
（更保）日本構成保護協会、認定NPO全国就労支援事業者機構、農と更生保護ネットワーク
北海道バイオマスリサーチ（株）、北海道新聞社帯広支社

共に働き ともに生きる



日本全国から150名のソーシャルファーム関係者が集まり、 第1回サミットを北海道新得町で開催

参加者所属団体

「仏ジャルダン・ド・コカーニュに学ぶ就労支援シンポジウム（新得・岩見沢）」及び併催事業にご参加いただいた参加者の所属団体名を下記に記載させていただきます（順不同）。

①行政

帯広市、新得町、上士幌町、旭川市、夕張市、北海道庁、空知総合振興局、京都府、農林水産省北海道農政事務所、法務省保護局、北海道開発局、北海道議会議員、江別市議会議員、釧路保護観察所、北海道地方更正保護委員会

②大学

帯広畜産大学、酪農学園大学、東京農業大学、大阪市立大学、立教大学、山口県立大学

③福祉関係者～十勝管内～

十勝障がい者総合相談支援センター（帯広市）、十勝障害者就業・生活支援センターだいち（帯広市）、ゆうゆう学舎（帯広市）、帯広ケアセンター（帯広市）、TENoHIRA（帯広市）、ぶどうの木（帯広市）、クローバー（帯広市）、新得共働学舎、わかふじ寮（新得町）、かりかち工房（新得町）、みどりの園（陸別町）、ひまわり（幕別町）

④福祉関係者～道内～

ワークショップ実の里（札幌市）、NPOサトニクラス（月形町）、余市養護学校（余市町）、べつかい柏の実会就労支援センターワークスオーク（別海町）、ワークショップサンワ（札幌市）、浦河べてるの家就労サポートセンターノア（浦河町）、医療法人社団萌仁会（はばろメンタルクリニック（羽幌町）、しりべし学園分校（黒松内町）、はるにれの会（札幌市）、コミュニティカフェ笑くぼ（札幌市）、ワークつかさ（岩見沢市）、晩生内ワークセンター（浦臼町）、戸別白光舎（芦別市）、麦の芽会（岩見沢市）

⑤福祉関係者～道外～

こころん（福島県）、ココ・ファーム・ワイナリー（栃木県）、とちぎ労働福祉事業団（栃木県）、NPO全国更正保護就労支援会（東京都）、豊心会（東京都）、スワン（東京都）、ねがいの家（埼玉県）、合（埼玉県）、清心寮（埼玉県）、NOCA（千葉県）、トライ・プランニング（神奈川県）、ハートランド福井（福井県）、水平会（大阪府）、福祉のまちづくり実践機構（大阪府）、アントレプレナーシップ開発センター（京都府）、オリブホットハウス（京都府）、共生シンフォニー（滋賀県）、一麦会（和歌山県）、玄海はまゆう学園（福岡県）、ファームきくち（熊本県）社団寿量会熊本機能病院（熊本県）、太陽の家（大分県）、かぼちゃの国（大分県）、ぶどうの会、信州共働学舎、南沢共働学舎

⑥その他

たけむら（芽室町）、エナティ（幕別町）、JA岩見沢、中野記念病院（芦別市）、高野ランドスケーププランニング（札幌市）、はまなす財団（札幌市）、北海道国際交流センター（七飯町）、明治（芽室町）、ニチゴ産業（帯広市）、フレメン写真製作所（札幌市）、ザ・ワインザーホテル洞爺（洞爺湖町）、SORATO（東京都）日本社会福祉弘済会（東京都）、日本放送協会、十勝毎日新聞社、北海道新聞、日本農業新聞社、地湧社

仏ジャルダン・ド・コカーニュに学ぶ就労支援シンポジウム

社会的弱者の就労支援を「農業とデザイン」でおこなう仕組みづくりをテーマにした「仏ジャルダン・ド・コカーニュに学ぶ就労支援シンポジウム」を6月7日、北海道新得町で開催しました。日本全国から福祉関係者ら約150名が参加し、農業を通じて社会的弱者の自立生活を実現する可能性を探りました。

プログラム

- 開会の挨拶 実行委員長 長澤秀行
- 歓迎の挨拶 新得町町長 浜田正利
- 基調講演「フランスにおける有機農業を活用した社会的弱者雇用への取組」
ジャルダン創設者 ジャン・ギィ・ヘンケル
ワインと文化社代表 南谷桂子
- 話題提供①「日本における社会的弱者雇用」
ソーシャルファームジャパン理事長 炭谷茂
- 話題提供②「社会的弱者を支えるデザイン」
武蔵野美術大学 教授 宮島慎吾
- 話題提供③「新たな雇用・就労支援への挑戦～ソーシャルファームの取組」
東京家政大学 教授 上野容子
- 話題提供④「共働学舎新得農場の35年間の歩み」
農組共働学舎新得農場 代表 宮嶋望
- 閉会の挨拶 NPOあうるず 菊池貞雄



▲日仏のソーシャルファーム間の人的、物的交流を提案したヘンケル氏



▲ジャルダンに関する書籍、取材記事が掲載されている雑誌



▲講演者、新得町長、実行委員会

福祉施設の製品見本市

障害のある方や就労の困難な方々が福祉施設や事業所等で心をこめて作りあげた製品の販売促進とPRを図るために「福祉施設の製品見本市」を7日、8日の2日間開催しました。

北海道内から12団体、道外から10団体が参加していただき、来場者に試食や試飲を提供し、交流を図りました。



◀TENoHIRA（ミートパイ）



◀帯広ケアセンター（ゴボウ茶）

「福祉とオーガニック」食事会

シンポジウム終了後、懇親会に120名参加していただきました。十勝の有機農産物やエゾシカ、ジャージー牛などを中心とした料理と福祉施設で製造しているワインや焼酎を提供しました。会の最後には、テーブルスピーチを行い、交流を深めました。



◀（社福）共生シンフォニー中崎さん（滋賀）第2回SFJサミットin滋賀に名乗りを挙げてくれました。



◀新得産そばの
実のガレット、
共働学舎の焼カ
マンベール